

## 夜回り活動「子ども夜回り」

町会の「夜回り活動」はまちを守る活動の一つです。これは、池袋本町の年末恒例の行事で、まちの風物詩となっています。「人通りの少ない、暗い道を選んで回ると、ある町会の役員さんは言います。この活動は、放火をはじめそのほかの犯罪を防止する役目を担っています。

寒波しゅうらいで、1年前に震災を経験した新潟地方は記録的な降雪と停電というニュースが伝えられ、東京地方も寒いさむい日が続いているなかでの取り組みになりました。8町会は、12月21日から30日までの間、それぞれが日程を組みました。

なかでも、「子ども夜回り」は、特徴的です。満2歳から中学生までが参加し、提灯もって、拍



## 守る

### 子どもを守る②

池袋二小校長 永瀬隆行

ニューヨークは今から10年以上前、大変犯罪の多発する都市として知られていました。今よりさらに治安が悪かったといえますから大変なものです。新しく就任した市長は犯罪をなくすために警官を増やしましたが、それ以上に町の落書きの一扫につとめたそうで地下鉄の車両（よく映画のシーンにいたずら書きいっぱい）の電車が出てきます）や町中の壁を清掃したそうです。こうした活動が犯罪の抑止に大きな効果をもたらしたことが報告されています。すなわち、犯罪の起こりにくい環境を作ることが大切だということです。

子どもが被害者となる深刻な事件が多発している折、ニューヨークの事例は示唆に富んでいます。

学校では、様々な安全指導を通して自分で自分を守る指導をしています。しかし、安全な場所

## 年末の風物詩 安心・安全をつくる

# まち

子木打って、「ヒノヨージン！マッチイッポンカジノモト！」。拍子木の音とともに、子どもたちの声が夜のまちに響きわたりました。子どもたちは、詰め所に集まって、大人が付き添って回ります。ご褒美もらっての帰りは、丁目ごとにまとまって「ヒノヨージン！」と、最後まで役割を果たしながら、各子どもの家まで送られます。「たのしかった〜！」と、子どもたちの本音。そのかけには、事故がないように気を配っている大人たちの印象的な姿があります。

これならまちも安全、保護者も安心！  
(情報収集：木田・喜元・久保・青山)

あると思っけても、ひとたび犯罪を犯そうとする人が来ればその場所は危険な場所になってしまいます。その犯罪を犯そうと思っている人が、『ここでは、犯罪を犯しにくいと思わせる環境』をみんなで作り上げていくことが一番重要なことです。

それは、子ども110番の家のステッカーとか、自転車の前かごや腕に巻いた安全パトロール中の表示だと思えます。また、子どもたちを地域の皆さんが声をかけて見守っていくことだといえます。

どこの〇〇ちゃんだと、皆さんが子どもたちと顔見知りになることが犯罪の抑止に最大の効果を発揮するものだと思います。

地域の皆様のご協力をよろしく願いいたします。



## 池袋本町

# まちづくりニュース

防災特集号

Ikebukuro Honcho  
MachiZukuri News

no.39

2006年1月17日発行

発行：池袋本町まちづくりの会（仮称）  
豊島区住環境整備課  
問い合わせ先：住環境整備課  
TEL 03-3981-0489  
FAX 03-5950-0803  
メール hosaichiku@city.toshima.tokyo.jp  
編集協力：働きまちづくり工房

## 今、まちづくりを考える 一水島助役は語る

池袋本町のまちづくりが新しくなって、はじめて1月17日を迎えます。

豊島区の水島正彦助役に、池袋本町のまちづくりの今後についてのお考えを語っていただきました。また、平成18年度からはじまる、「より安心して住める環境づくり」のための、住宅などに対する耐震改修助成制度の概略についても紹介していただきました。

### 安心して住めるまちづくりを目指して

池袋本町の震災時の危険度（「地域危険度調査」東京都平成14年（②③頁参照）などを考慮すると、防災を念頭においてまちづくりに取り組んでいく必要があると認識しています。池袋本町では、「安心して住める環境づくり」がまちづくりの基本になると考えています。

今後ともこれまで同様、国などの制度を活用して、まちづくりを考えることが、非常に重要であると考えています。特に施設の整備等については、財政負担が非常に大きいものですから、居住環境総合整備事業により国の財源（補助）を利用し、まちづくりを進めていきます。

### 阪神・淡路大震災を教訓にして・・・

阪神・淡路大震災の惨劇から11年の歳月が過ぎ、この記憶が人々の中から薄れていることが、「防災まちづくり」の進行を妨げているのではないかと危惧しています。

先日、阪神・淡路大震災の、コンピュータグラフ

ィックによる凄まじい再現映像を見ました。あのような直下型地震に対しては、相当な覚悟をもって対策に取り組んでいく必要性を感じています。

### 耐震改修の助成かはじまります

区の平成18年度の新規事業として、一般の住宅の耐震改修に対する支援策を導入する予定です。

これは、区の財源だけでなく、国土交通省の「地域住宅交付金制度」を活用した「（仮称）民間住宅耐震改修助成」という事業です。国と区の財源により、耐震改修の助成を行うものであり、平成18年4月からスタートする予定です。

この制度の詳細は、現在検討中ですが、区民のみなさまの活用状況や効果等、諸状況を勘案して、実効性の高い制度になるよう努めてまいりたいと考えています。よろしくお願ひします。



### つれづれに一言

その日、いつものように出勤準備をしながらテレビをつけた。「神戸で地震があった模様」というアナウンスを聞いてから家を出た。  
昼休みに見た職場のテレビは延々と報道していた。夜には死者が千人、翌日には二千人になった。簡単に考えていた私は、思わず外に出てサンシャインビルや自宅北側に建っていたJR住宅を眺めた。  
その後、JR住宅跡地の活用を考える会のメンバーになった。危険な地域ゆえに都の助成を得て、防災用地として区が取得したことを知り、愕然とした。  
仲間と話し合い、災害時の避難場所である城北公園まで小学生の子供たちと一緒に、実際に歩いてみた。倒れそうな建物、上から物が落ちてきそうなマンション。ひび割れかけたり、盛り上がりつつある道。災害時には人が溢れ、とてもたどりつけそうもないね」と、ため息をついた。  
あれから数年。安全に避難できるようにになったのだろうかと思っている。（広報 大畑嘉子）

さまざまな「まちの情報」を教えてください！  
「ためになる」「おもしろい」「埋もれている」など、まちの話題は事務局まで！